

実施日：10月下旬～11月上旬	
領 域：教科（技術）	
取組名：ネットの危険性	
対 象：1年生	実施場所：コンピュータ室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を扱う際のルールとマナーなどのモラルの必要性を知り、情報の適正な利用について考えさせる。 ・ 人権や個人情報を保護するためのルールを知り、情報の利用の仕方について考えさせる。 	
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 迷惑メールに返信をしてしまうと、相手に確実にメールが届くアドレスであることが伝わってしまうことを知らせる。 ・ チェーンメールが大量なメールを発生させ、迷惑になることを伝え、もし自分のところに来ても送らないことを確認する。 ・ ワンクリック請求のページを疑似体験し、被害にあわないようにするための対処方法を知らせる。 ・ ネット上の発言は絶対に消えないことを確認する。 	
ウ 連携先：家庭	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <p>三者懇談時に、SNSの使用方法や内容について保護者を交えて話し、注意喚起をする。</p>	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <p>コミュニケーション能力をつけるための発表の型（自分の言葉で発言する「理由づけ発言」、思考力向上のための「ロング発言」、ディベート学習につながる「からみあい発言」）を、全教室に掲示し、授業で意識して取り入れるようにしている。</p>	
<p>カ 評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表 ・ 定期テスト 	
<p>キ 成果</p> <p>ワンクリック請求の疑似体験では、入会のページが消えないことに「怖い！」という多数の声があがった。また、「請求元に電話をする」「退会金を払う」という冷静な判断ができていない生徒の発言もあり、ネットの危険性について身をもって理解ができていた。</p>	
<p>ク 課題</p> <p>チェーンメールのもたらず迷惑などを理解していても、不安になって送らずにいられない場合もある。多くの生徒がインターネットに関わっている実態を踏まえ、迷惑メールの対応や被害にあったときの相談先等、定期的に伝え、指導する必要がある。</p>	